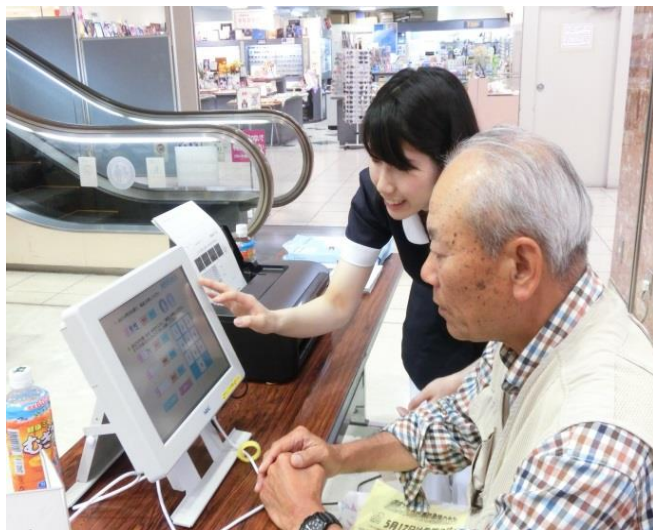


『まちの保健室』

《活動の紹介》

看護学部では、千葉県看護協会山武地区部会が開催している「まちの保健室」に地域連携活動の一環として参加しています。「まちの保健室」は、看護師が、住民の方の血圧や骨密度などを測定したり、健康相談に応えることにより、住民の健康を支援する活動です。この活動には本学看護学部の学生と教員が参加し、地域の皆さまの健康の維持・増進に貢献するとともに、学生の学びの機会としています。



《参加学生の声》

現役の看護師さんと一緒に活動でき、とても良い経験になりました。毎年来る来場者の方がいたり、行列ができたりと、健康に関心を持たれている方々が多いということがよく分かりました。お手伝いをしながら地域の方々と交流でき、これからの学びの意欲が高まりました。

(看護学部2年 幸松弘子)

《参加学生の声》

イベントに来てくださった方々に根拠を元に測定結果を伝えるなかで、今よりもより健康に近づけるようなアドバイスを伝えることの難しさを痛感しました。「まちの保健室」に来てくださった方々には、それぞれの人生背景、生活習慣や既往歴があるため、個別性のある看護を提供することが、何よりも大切であることを再認識することができました。

(看護学部3年 渡邊彩花)

